

○プラットフォーム構築、保守管理

当事業では、事務局において、申請の受付からポイント発行、ポイント残高の管理（申請者はWeb上でポイント残高を照会できる）、サービス利用時のポイント会計システムをプラットフォームとして構築する。

構築するプラットフォームは、当事業独自のものとなり、プラットフォーム構築については、令和8年度中に実施し、以降3年間は、当該プラットフォームを円滑な運用、保守管理を行う（令和8年度から令和10年度までの債務負担行為設定）。

（3）県負担・補助率の考え方

県10/10

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	39	プロポーザル評価会議
旅費	99	プロポーザル評価会議構成員旅費、業務旅費
委託料	397,430	事務局運営、プラットフォーム構築等
合計	397,568	

決定額の考え方

以下のとおり事業内容を精査し、所要額を計上します。

- ・物価高騰下における緊急的な事業とし単年度事業とするとともに育児用品等の購入も対象とする
 - ・令和8年度に1～3歳となる子ども対象とする
 - ・育児負担を考慮し、第3子以降は2万円、第1、2子は1万円とする
- また、財源については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

岐阜県こども計画

第5章 政策の4つの柱に基づく施策の方向

3 子育て中の方への支援

（3）安心して子どもを預けられる受け皿づくり

○身近なところで提供される子育て支援の充実

（2）国・他県の状況

国が令和5年12月に策定したこども大綱では、一時預かり、ファミリー・サポート・センター、ベビーシッター等に関する取組を推進していくことを記載。

（3）後年度の財政負担

プラットフォーム構築後3年間は、各年度において同程度の保守管理費が必要となる。

（4）事業主体及びその妥当性

県下全域を対象に実施する事業であり、県が事業主体となることは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

一時預かりやファミリーサポートセンターなどの子育て支援サービスの利用を促進し、子育て家庭の身近なサービスとして定着することで子育ての身体的、精神的負担の軽減を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
「地域こども・子育て支援事業費補助金」の支援事業数		291	294	297	300	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>
令和5年度	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>
令和6年度	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など